



日本国際飢餓対策機構 (Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH) は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体 (NGO) です。1981 年にひとりの日本人がインドシナ難民救援に参加したことを契機として誕生しました。以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人財育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合 (Food for the Hungry International Federation) の一員として、18 ヶ国 55 の協力団体とともに、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、現地パートナーと協力しあって、「こころとからだの飢餓」に応える働きをしています。

ウェブサイト情報

ハンガーゼロ専用サイトが公開

お待たせいたしました。「ハンガーゼロ・アフリカ」専用サイトがオープンしました。この取り組みの内容や、ゼロ・サポーターへの情報提供のほかサポーター参加申込みもこのサイトで可能です。また、あらたにスタッフ・ブログやツイッター機能も加えましたので、コミュニケーションを通してサポーターの輪を広げ、飢餓のない社会を実現しましょう。まずはアクセス！
<http://www.jifh.org/>

食べ残しゼロ

「テイクアウトボックス」

当機構の協力会社のキングダムビジネスが、食べ残したものを持ち帰ることができる「テイクアウトボックス」を発売開始。折りたたみ式で繰り返し使えます。お求めは下記まで。

販売元：(株)キングダムビジネス
価格：1 ヶ 900 円 (税込)
電話：072-940-6814



本 de リンク！

～「古本」「CD」で国際協力！～
古本や音楽 CD、DVD、ゲームソフトを当機構・愛知事務所にお送りください。飢餓・貧困に苦しむ方々のために用いさせていただきます。

★詳しくは、愛知事務所までご連絡ください！
TEL:052-731-8111
E-mail aichi@jifh.org
6～7月集計／本 713 冊
CD35 枚／DVD 1 枚／ゲーム 1 枚

ハンガー・ゼロ・サポーター 1 万人大募集

今すぐ▶▶▶ 各種支援の お申し込み ができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類等を送らせていただきます。
お電話でも申し込みできます。各事務所までおかけ下さい。

- ☐ ハンガー・ゼロ・サポーターとして協力します。
毎月 () 口、協力します。(1 口 1,000 円)
- ☐ JIFH 会員になり毎月定期的に財的協力をします。
毎月 () 口、協力します。(1 口 500 円)
- ☐ 「世界里親会」に協力します。
説明書、里親会入会申込書を送ってください。
- ☐ 海外派遣スタッフを支援します。
毎月 () 円 () スタッフ指定
- ☐ 海外派遣スタッフを支える会の会員になり、協力します。毎月 () 口 (1 口 1,000 円)
- ☐ 郵便自動引落の申込書を送って下さい。

フリガナ 氏名： 男・女

〒

フリガナ 住所：

.....

.....

(電話)

▼申込日： 年 月 日▼

FAX・072-920-2155

新デザイン
2011
国際協力
カレンダー

7 ヶ国の民間援助団体の共同制作。
以下の点が新しくなりました。
◎写真がワイドになりました！
写真の美しさや迫力がよりダイレクトに伝わるよう、横幅を広くしました。そのため、リング形式で月ごとに裏側へ回し送るタイプを採用しています。
◎数字クイズで世界を知る！
世界の現状クイズを各月に掲載、数字を通して新しい発見ができます。
◎マンガのみなみくんも登場
表紙の裏ページは、子どもニュースでおなじみのみなみくんのまんがになっています。ご家庭にまたはプレ

ゼントにご利用ください。
■お申込み・お問合せ先
制作販売：(株)キングダムビジネス
TEL (072) 940-6814
FAX (072) 940-6824
ホームページからのお申込みは
<http://www.kbwin-win.org/>
※なお発送は 10 月からになります。



★ご協力を感謝します★皆様に飢餓対策ニュースをお届けするために、毎月、ひばり障害者作業所 (八尾市)、生活愛 (大阪市など)、そして関西一円のボランティアの皆様が発送作業のご協力をして下さっています。ありがとうございます！

■発行者	岩橋竜介	大阪	〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1 TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
■発行所	一般財団法人 日本国際飢餓対策機構	東京	〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 517 号室 TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
		愛知	〒466-0064 名古屋市中区鶴舞 3-8-10 愛知労働文化センター 2F TEL (052)731-8111 FAX (052)731-8114
		広島	〒731-0103 広島市安佐南区緑井 2-21-23 201 号 TEL (082)831-1214 FAX (082)877-3961
■郵便振替	00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構	沖縄	〒901-0156 那覇市田原 3-8-1 ユリ香ハウス 201 号 TEL (098)859-4585 FAX (098)859-4540
	※支援金は随時受け付けております。		



携帯サイト

JIFH 日本国際飢餓対策機構

飢餓対策 News

2010
No.242

9



「貧しい者が国のうちから絶えることはないであろうから、私はあなたに命じて言う。『国のうちにいるあなたの兄弟の悩んでいる者と貧しい者に、必ずあなたの手を開かなければならない。』」聖書

「日本の長寿ブランドの崩壊」と海外メディアが報じた高齢者の所在不明問題は、8月15日現在で100歳以上の不明者が全国20都道府県(52市区町)で計242人に上るといわれています。不明者の国籍も多国籍に及んでいるよう
で関係部署の迅速な対応が求められています。
そんな中で、「もう50年

も親とは会っていない」、「どこかで生きているはずだ」などのインタビューへの弁明を聞くと、家族のつながりが崩壊していることを知らされます。親であっても子であっても、その存在や安否に関心がおよばない。この日本にきわめて利己的な生き方、無関心社会が生じているというのでしょうか。

冒頭の聖書の言葉は、貧しく痛む者が私たちの身

の回りに、また世界には存在している。その方々に手を差し伸べよと語り、そのために、「あなたの心を開け、手を開け」と勧めています。それは他者へ関心を向けることであり、自分の持てるものを具体的に分かち合う行動を意味します。

今年も世界食料デーが近づいてきました。今年も「善隣共生…善い隣人となつてともに生きる」の志を持つ多くの方々が立ち上がって、全国で様々な食料デー大会が開催されます。10億を超える飢餓に苦しむ人々、1分間に17人の人々がそれが

原因で命を落としている世界。「愛の反対は無関心です」とのマザーテレサの言葉を思い出します。「どこかの誰かが何とかしてくれるさ」ではなく、この私ができることを共に行動に移し、「無関心社会」ではない「互いに助け合う愛の社会」を築いて行こうではないですか。

国内啓発総主事 田村治郎

今年も各地で「世界食料デー」
あなたの心と手は開かれていますか

1 分間に 17 人 (うち 12 人が子ども) ・1 日に 2 万 5 千人 ・1 年間では約 1,000 万人が、飢えのために生命を失っています。



子どもの給食支援を実施 コミュニティーの再生を応援する

アフリカ大陸の北東部のスーダン共和国は、日本の約7倍というアフリカ最大の面積を持つ国で、9ヶ国に隣接しています。また数百もの異なる民族が共存していて人々の暮らし方も多様です。

1899年からイギリスとエジプトの共同統治下に置かれていたスーダンは、南北間の交流を禁止する政策がとられていたこともあり、住民は南北が1つの国となることに違和感を持っていました。1955年、独立運動の中で南北の内戦が勃発。一度は停戦に至ったものの再燃し、2005年の南北包括和平合意の締結まで、「アフリカ最長の内戦」を経験することになりました。

南北内戦による死者は約200万人、難民・避難民は約400万人といわれています。

長い内戦の残した傷跡

スーダン南部、ルンバック地区に住んでいたディンカ族の人々は、内戦によって多くの困難を経験し、15年ぶりに戻ってきました。そこで彼らが見たのは、壊滅的な被害を受けた故郷の姿でした。そこには生活に必要な最低限のものも残されていませんでした。

生きていくために最も基本的な、水や衛生設備、保健サービス

もないために、ルンバックでは毎日のように赤ちゃんや幼児が亡くなっていました。また、長く続いた内戦の結果、コミュニティーからは男性が一世代欠けたかのような状態になっていました。

子どもの親に栄養知識も

日本国際飢餓対策機構の現地協力団体、南スーダンLIA(Life In Abundance)は、2010年3月、この地区で給食プログラムを始めました。当時は50人の子どもが、昼食時に豆と米の給食を受けていましたが、3月から6月の間に給食を希望する子どもは2倍に増え、同時に次のことが明らかになりました。

- 全生徒に配るのに十分な食糧が割り当てられていない。
 - 提供されている食事は、成長に必要な栄養が十分でない。
 - 子どもたちは空腹だと勉強に集中できない。
 - 給食用の食器が不足
 - 子どもたちは栄養不足だけではなく、最少限の衣類も持っていない。
 - 子どもたちの親も栄養についての知識がなく、また栄養のある食事を食べさせる手段もない。
- このことから、日本国際飢餓対策機構は、南スーダンLIAをとおして次の支援を始めます。

- ①年間を通して110人の生徒たちが、十分に栄養のある食事をとることができるようにする。
- ②学校に通っている子ども達とその保護者が、各家庭で栄養のある食事を食べさせられるように、栄養の知識を提供し実行するよう励ます。

現在私たちにできることはわずかですが、この支援を足がかりとして、やがて自ら子どもたちの必要に応えることができるように、コミュニティーが変革されていく第一歩になると信じています。どうぞアフリカの飢餓撲滅のために御協力ください。

スーダン 国情報

面積：250万km2
 人口：3,915万人（第5回人口調査）
 公用語：アラビア語、英語
 宗教：イスラム教（主に北部）
 キリスト教（主に南部）
 土着宗教
 GNI：US\$1,130（日本37,670）
 5歳未満児の年間死亡率数1,000人あたり：138人（日本4人）
 平均余命：58年（日本83年）
 5歳未満児栄養不良による
 低体重児率 27%
 発育障害児率40%
 （ユニセフ世界子供白書特別版2010）

このプロジェクトは、村の住民、地域の行政機関とともに進められています。



山岳地帯の子どもたちのための 学校建設を支援

マレーシア・ディオンモンギス

建設が進められている
 テンギラン ビジョン スクール
 (Tenghilan Vision School)

マレーシア サバ州 カダザンドゥスン ディオンモンギスにおいて学校建設の支援が始まりました。

通学に片道3時間

ディオンモンギスは、マレーシア州都のコタ・キナバルから車で約2時間の、標高1,500mの山岳地にあります。村の人は自給自足をしながら、山で木の実や薬草を採取したり、パイナップルを栽培したりして市場で売って生活しています。

テンギランと呼ばれるこの地域の14の村から子どもたちが学校に行くには、熱帯雨林の道を片道3時間歩かなければなりません。

これを知った韓国飢餓対策機構マレーシアの理事長サイモン・リー氏は、2009年4月の国際理事会で学校建設を提案、日本国際飢餓対策機構の岩橋現理事長も現地を視察し、その後支援を決定しました。地域の行政

機関の協力も得て土地も確保でき、幼稚園2クラス、小学校6クラスと教職員の宿舍、発電設備などの建設が進んでいます。この学校のために、名古屋の学校から机と椅子を送ってくださることになりました。リー氏は「韓国と日本の皆さ

んの応援をととても感謝しています。子どもたちがより良い環境で勉強できて、地域のリーダーとなり、他の人を助けるだけではなく、違う国の貧しい人を助けることができる人に成長するよう願っています。」と語っています。

机と椅子を マレーシアの学校へ！

7月23日。炎天下の中、金城学院中学校・高等学校のみなさんが大切に使っておられた1,000セットの机と椅子が、マレーシアのコタキナバルへ行くコンテナの中に積み込まれまし



コンテナへの積み込み作業を終えた生徒代表のみなさん。

た。行き先はテンギラン・ビジョン・スクールとヌンバック・ビジョン・スクールです。日本では「学校なら机や椅子は当たり前」と思われるかもしれませんが、途上国では、一人一人が座れる椅子や、自分だけの机はめずらしく、まるで宝物です。金城学院からは、8月にも机と椅子を寄付して下さり、当機構を通して、フィリピンのミンダナオ島へ送られました。子どもたちの笑顔が目に見えます。金城学院のみなさん、ありがとうございます！

世界食料デー沖縄大会

10月16日は世界食料デー

わたしから始める、世界が変わる

最底辺に生きる10億の人々を覚えて…

善い隣人として歩もう

1981年、世界の食糧問題を考える日として国連が制定した日、それが10月16日「世界食料デー」です。世界の一人ひとりと協力しあい、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決してゆくことを目的としています。

この日をきっかけとして自分自身の生活を見直して、世界の人々とともに生きる生き方を少しでも実践しようとする人が増やされてゆくことが「世界食料デー」の願いです。

当機構もこの趣旨に賛同し、同じ思いを持って協賛する全国の人々とともに行動してきました。今年も全国22ヶ所で「世界食料デー大会」が開催されるとともに、家庭で、学校で、職場で、教会でさまざまな取り組みが行われようとしています。

飢餓人口10億突破、この数字はこの世界で多くの人々がきわめて厳しい現実と直面していることを表しています。

日本国際飢餓対策機構は29年の間、「ハンガーゼロの世界の実現

を」と、世界にある物心両面の飢餓撲滅の働きに取り組んでまいりました。そして今年はさらに新たな決意を持って「ハンガーゼロ・アフリカ」に挑戦してゆきます。アフリカは人口の32%もの人々が栄養不足であり、非常事態の一步手前とも言うべき深刻な危機が、特に西アフリカの人々に迫っています。サヘル地域と呼ばれるサハラ砂漠南端のベルト地帯（別称：飢餓ベルト）では、今年も旱魃と洪水に見舞われた国々が多く、不順な天候によりこの数ヶ月で1,000万近くの人々が深刻な飢餓に陥る危険性があると警告されています。

日本国際飢餓対策機構は、今までの自立開発支援、子どもたちへの教育支援等の働きとともに、このアフリカの緊急を要する必要に、皆様とともに働きを進めてまいります。

今年も世界食料デーは、「私から始める、世界が変わる…飢餓で



今年の世界食料デーのポスター

苦しむ10億の人々を覚えて」をテーマに、飢餓と貧困に闘う人々の善き隣人として、志を同じくする私たち一人ひとりの日常における取り組みが、この世界を変えてゆくことを信じて行動してまいります。ともに具体的な一歩を踏み出してゆきましょう。

★今年の募金は以下の取り組みに用いさせていただく予定です。

- ・ゆたかないのちの回復プログラム（エチオピア）
- ・子どもの教育再生プログラム（スーダン）
- ・子どもと地域開発プログラム（フィリピン）
- ・地域開発（農業・保健衛生・貯蓄）プログラム（カンボジア）など

2009年の募金報告

昨年は、全国の世界食料デー大会や、学校や団体、個人の方々から、23,576,718円の募金が寄せられました。これらの募金は以下の活動に用いさせていただきました。皆様の温かいご支援に心から感謝いたします！

海外支援プロジェクト：18,990,230円

- スーダン南部／学校修理費
- ガーナ／貧困啓発プロジェクト
- コンゴ向け／医療用具輸送費
- エチオピア／ゆたかな命の回復プログラム
- ウガンダ／学校建設費
- ルワンダ／平和構築プログラム
- バングラデシュ／家族と地域の変革プログラム
- 中国／地域開発プログラム
- カンボジア／地域開発プログラム
- インド／女児胎児を守る包括的アプローチ／アシシ障がい児支援スクール



インド・アシシ障がい児スクールの子どもたち

その他：4,586,488円

- 内啓発教材費(世界食料デー印刷物および発送費)
- JIFH事務局経費（講演&現地報告者関連、通信費など）

沖縄発 支援者の取り組み

食卓を通した国際チャリティー
「響きあう食卓展'10」
～ていねふあな～
手のはなを咲かせたい
Hearts&Hands

- 沖縄県那覇市久茂地に、ロハスタイルの赤いレンガのホテルサンパレス球陽館（金城幸子さん、同実行委員会代表）があります。

- 6月12～13日に同ホテルにおいて「響きあう食卓展'10」が開催



- パンなどを紹介するブース、また温かみのある手作りの小物などさ

まざまな物を展示販売しながら『手から手へ、人から人へ 大切にしたいと思うことを伝えていく』という取り組みがなされています。

毎年この「響きあう食卓展」の収益金の一部は、その時々に必要な働きのために贈られています。10年目を迎えた今年は、飢餓に苦しむ人々のため、特にアフリカのスーダンのために開催されました。

飢餓のテーブル

この食卓展の会場で、従来のテーブルと対照的な「飢餓のテーブル」が「白い家ミニストリーズ」によって設置され、来場者に日本の豊かな食卓とは反対に飢餓で苦しんでいる人々がいることをアピールされました。

白い家ミニストリーズ（牧師：伊藤嘉子）は、これまでに何度もコンサートなどを通して飢餓のための働きを行ってこられましたが、この会場では当機構の親善大使である上原令子さんのCD「ほんの少しのやさしさ」を販売さ

れ、107枚購入のご協力を得ることができました。

実行委員会代表の金城幸子さんは「私たちの生活がいかに恵まれているかを知って、世界の飢える人々に関心をもつ人が多くおられました。少しでもお役に立てれば幸いです」と話され、伊藤嘉子さんも「多くの方々が耳を傾けて下さり、涙を流して聞いて下さった方々も…」と、反響の大きさに



白い家ミニストリーズの伊藤さん⑤と食卓展実行委員会の金城さんは、世界食料デー沖縄大会への参加協力も続けておられます。

思いを熱くされていました。

白い家ミニストリーズから150,000円（「響きあう食卓展'10」からの収益金）、CDの売り上げから53,500円、その他2,660円が当機構に寄せられました。ありがとうございました。

（沖縄事務所 太田）

2010 世界食料デー大会・一覧表

※ JIFH= 日本国際飢餓対策機構

※日程・会場など変更する可能性があります。事前に各大会事務局あるいは東京事務所までご確認ください!!

大 会		事務局TEL	開催日	時 間	主な内容	会 場
栃木	那須野ヶ原	0287-36-5914	10/29 金	19:00-21:00	式典／現地報告（フィリピン駐在 酒井慶子） ピアノコンサート	那須野ヶ原ハーモニーホール
神奈川	湘 南	0467-75-0542	10/16 土	13:30-16:00	コンサート（JIFH 親善大使 森祐理）	文教大学湘南キャンパス
富山	高 岡	0766-21-6029	11/7 日	14:00-16:00	講演・現地報告（JIFH 田村治郎）	高岡バプテスト教会
愛知	名古屋	052-731-8111	10/9 土	14:00-16:00	音楽、劇、ダンス、野菜やスイーツの販売 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	名古屋文化短期大学・アッセン ブリーホール
大阪	南大阪	0725-22-3585	10/2 土	14:00-16:00	講演（JIFH 清家弘久）、クイズ大会、音楽 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	テクスピア大阪
	北大阪	06-6387-8178	10/7 木	19:00	講演（JIFH 鶴浦弘敏） 現地報告（ルワンダ駐在 竹内緑）／音楽	チャーチオブクライスト ニュージーランド日本大阪教会
	東大阪	072-964-5144	10/26 火	19:30-21:00	講演（JIFH 清家弘久）／東大阪合同聖歌隊 現地報告（フィリピン駐在 酒井慶子）	大阪シオン教会
	八尾東	072-997-4838	10/3 日	要問合わせ	講演（JIFH 清家弘久） 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	グレース大聖堂
	八尾西	072-997-4838	10/9 土	15:00-16:30	講演（JIFH 田村治郎） 現地報告（フィリピン駐在 酒井慶子）	久宝チャペル
	柏 原	072-997-4838	9/26 日	要問合わせ	講演（JIFH 田村治郎） 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	柏原チャペル
兵庫	芦 屋	0797-31-2093	10/17 日	14:00	講演（JIFH 鶴浦弘敏） 現地報告（フィリピン駐在 酒井慶子）	芦屋教会
	宝 塚	0797-73-6076	10/16 土	14:00	講演（JIFH 清家弘久）、現地報告（フィリ ピン駐在 酒井慶子）、音楽、ミニバザー	宝塚栄光教会
広島	広 島	082-843-5424	10/3 日	15:00-17:00	講演（JIFH 田村治郎） コンサート（JIFH 親善大使 森祐理）	広島 YMCA ホール
高知	須 崎	0889-43-2223	9/30 木	19:30	講演・現地報告（JIFH 田村治郎）	須崎市市民文化会館
鹿児島	鹿児島 (協賛バザー)	099-223-0448	11/3 水	10:00-14:00	世界食料デー協賛バザー	鹿児島教会・特設会場
	鹿児島	099-722-0185	10/29 金	18:00	講演（JIFH 清家弘久）、現地報告（ルワンダ 駐在 竹内緑）、鹿児島県内活動報告、寸劇他	サンエール鹿児島
沖縄	北 部	098-859-4585	10/14 木	19:30	挨拶（JIFH 田村治郎）、音楽 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	名護市労働福祉センター
	中 部	098-859-4585	10/16 土	19:00	挨拶（JIFH 田村治郎）、音楽 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	美浜メディアステーションスタジオ
	南 部	098-859-4585	10/17 日	17:00	挨拶（JIFH 田村治郎）、音楽 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	浦添市てだこホール・市民交流室
	八重山	098-859-4585	10/19 火	19:30	挨拶（JIFH 田村治郎） 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	石垣市健康福祉センター
	宮 古	098-859-4585	10/20 水	19:30	挨拶（JIFH 田村治郎） 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	宮古島マリントーミナルビル
	久米島	098-859-4585	10/21 木	19:30	挨拶（JIFH 田村治郎） 現地報告（ボリビア駐在 小西小百合）	イーフ情報プラザ交流ホール

2010世界食料デー大会 現地報告者＆講演者



◎竹内緑/ルワンダ駐在
(プログラム・コーディネーター)
1993年以来、ソマリア、旧ザイル、アンゴ
ラ、エチオピアで緊急支援に従事。2006年9
月からルワンダのカモニ郡にて、トラウマに
苦しむ方々への支援に取り組む。



◎小西小百合/ボリビア駐在
(世界里親コーディネーター、人づくりコーデ
イナー)
1996年からドミニカ共和国、ペルー、現在は
ボリビア駐在。世界里親会を通してチャヤに
て人々の全人的成長を支援。



◎酒井慶子/フィリピン駐在
2008年4月より、夫・酒井保とともに持
続可能なコミュニティー開発に取り組むた
め、フィリピン・ミンドロ島に赴任。ス
タッフトレーニング、少数民族の識字教室
などに関わる。

■講演者

- ◎田村治郎・啓発総主事
- ◎清家弘久・常務理事
- ◎鶴浦弘敏・広報主任



田村



清家



鶴浦

世界里親会 活動地のこども



勉強したいのに

世界里親会では、支援を必要とされる地域にスタッフが入
り、子どものいる各家庭を訪ねて、貧しい中でも特に必要の
ある家庭から1人ずつ里子として登録しています。兄弟姉妹が
多い場合は、基本的に5歳から10歳までで、かつ勉強に意欲
のある子を選びます。

それでも中には落第したり、学校に行かなくなってしまう
たりして、里親さんをがっかりさせてしまう子どもがいま
す。今回は、各国の落第事情についてお知らせしましたが、
今回は、子どもたちの勉強の妨げとなる要因について、世界
里親会の現地スタッフからの声をお伝えします。



歯科衛生の授業を受けているフィリピンの子どもたち

Q.各国世界里親会に質問

子どもたちの勉強を妨げてい
る要因は？

A.各国世界里親会の回答



ウガンダ

家の手伝いが多すぎて、復習
する時間がない。親自身、教育
に対する理解が低く、特に女の
子に関しては、成長するにつれ
て学校を続けさせるのを快く思
わないケースがふえます。

教師が少ない。学校によって
は、十分な数の教師が確保でき
ず、子どもたちがしっかり理解

できるような授業が行われない
問題があります。



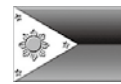
カンボジア

農業で生計を立てている家庭
が多いので、子どもを学校へ行
かせるよりは農作業を手伝わせ
たい、と考える保護者が大半で
す。また感染症が蔓延しやすい
気候のため、子どもたちのみな
らず、教師がしばしば病気にか
かり、授業がなくなってしまう
ことも少なくありません。



バングラデシュ

しっかりした教育を受けた保
護者がほとんどいないため、子
どもが家庭で復習しようとして
も、勉強をみてやれる人がいま
せん



フィリピン

1教室に60～80人の生徒が詰
め込まれており、落ち着いて勉
強する雰囲気には乏しいのが実態
です。また、貧困家庭の子ども

たちは、自分が置かれた環境に
絶望して退学した仲間たちの誘
いに乗り学校をサボってしまう
こともあります。



ボリビア

生徒によっては学校まで徒歩
で2～3時間かかる子もいま
す。家庭が貧しく栄養状態が悪
いので、学校にたどり着いても
勉強に集中できないことが多い
のです。

.....

親の経済力が子どもの学力に
比例するケースは、日本でも話
題になりますが、開発途上国の
子どもたちは、私たちの想像を
超えるような厳しい環境の中に
置かれ、勉強したくてもなかな
かできないのが実情です。

世界里親会のスタッフは、子
どもたちが勉強を続けることが
できるように、どのように励ま
しているのでしょうか、次号で
ご報告いたします。



カンボジアの子どもの授業風景

里親募集

世界里親会では、貧困と闘う子どもとその家族を支援して下さる里親を求めています。カンボジアとウガンダでは支
援を待つ約100名の子どもがいます。ぜひ里親になってください。